



笠岡労働基準監督署長
岡田 康浩

全国安全週間を迎えるに当たり、建設業をはじめとする災害多発業種の労働災害防止に向けた機運を高め、労働災害防止のための取組の強化を推進するために、建設業労働災害防止協会岡山県支部笠岡分会と合同で本パトロールを公開で実施しました。

当署管内の建設業における労働災害は平成22年以降増加傾向にあり、過去3年間の状況を見ると、建築物・梯子・脚立等が起因した「墜落・転落災害(33.3%)」が最も多く、続いて「転倒災害(14.5%)」、「はさまれ・巻き込まれ災害(10.1%)」となっています。



また、昨年、建設工事現場発生した3件の労働死亡災害は、わずかな斜面を建設機械ごと転落した災害など、いずれも建設機械によるものです。



資料出典：厚生労働省「職場のあんぜんサイト」

第87回 全国安全週間

期間：平成26年7月1日(火)～7日(月)

【準備期間：平成26年6月1日(日)～30日(月)】

みんなでつなぎ 高まる意識
達成しようゼロ災害



笠岡労働基準監督署

パトロールでは、建設機械による災害防止対策、高所における墜落対策、熱中症防止対策などについて重点的に確認しました。この6月19日を中心に、岡山労働局及び岡山県内の各労働基準監督署においても安全パトロールが行われています。全国安全週間を契機に、安全活動の着実な実行を図り、労働災害の撲滅を目指していただきますようお願いいたします。

～みんなで作ろう 職場の安全・安心～